

英語を楽しく

No. 172

☆日本人が間違いやすい英語 -6

ASAP = as soon as = できる限り早く

N先生、今日中に書類をA小学校に送らなければならない。そこで、朝早く、
「O教頭先生、今日、例の書類を送らねばなりません、できる限り早く見てください。
と次の様に言いました。

“Mr O, could you check the papers ASAP?

I have to send it today.”

O教頭先生は、N先生の顔を見ながら優しく、

「N先生、その言い方は、もう少し直すととてもよくなるよ。このように言うのだよ。」
と次のようにアドバイスをしました。

“Could you please check the papers
at your earliest convenience?”

「ご都合の付くもつともはやい時に 書類を見ていただけないでしょう。」
とね。そのわけは、

『ASAP』は as soon as = できる限り早く と言う意味ですが、目上の人に使いません。それに『ASAP』は、相手に自分の都合も聞かず、とにかく急がされている。という印象を与えることもあるので使わないのが無難だね。もちろん、自分が目上の人に対して『急いでやります。』と言う場合には大いに使ったらいいよ。」と。そして、最後に、

「N先生、書類は今すぐに見るから安心してください。校長先生には『急ぐ書類ですから』

と私からもお願いしておきますからね。」の言葉でした。

N先生はとても安心して足取り軽く教室に戻りました。

□会話の KEY point 人に何かを頼むときは、いきなり要件を言わないこと

Could you please ~? の文であっても、その前に、

I'm sorry to trouble you, but をつけるととても丁寧になります。

(例) I'm sorry to trouble you, but could you show me
the way to Arakawa elementary school?